

## < 編集後記 >

名古屋大学情報連携基盤センターニュースを編集する広報委員会の中に、他大学からの委員が一人入っています。私がおの一人として、いつも熱心な編集会議で勉強させて頂いております。

私が役立っているかは疑わしいところですが、外部から広報委員を招き入れる制度は、弊学（某私学）でもぜひ見習うべき良い制度だと思います。

さて、今回のセンターニュースはいかがでしたでしょうか。表紙の「野球変化球のシミュレーション」は親しみを持てる身近な物理学ネタということで、私は若い頃熱読したフィンマンや寺田寅彦の世界を思い出してしまいました。身近な「なぜ」を解決していく好奇心を、今日の学生さんたちにもぜひ持って頂きたいと思えます。

つづく「サロン」では横井先生にパソコンのリサイクル活動を紹介して頂きました。この活動は、昨今のオープンソース・ムーブメントと無縁ではなく、ソフトウェア・エンジニアリングと環境保護、教育支援がうまくマッチしている点に注目したいと思います。好循環により強力な生産活動プラットフォームが生まれることを期待しています。

「解説」のグリッドコンピューティングもホットな話題です。インターネット上でもいろいろなプロジェクトが生まれてきていますが、スーパーSINETという高速なインフラの上で、どれほどの成果が生まれて来るか大きな期待で見守りたいと思えます。

ところで本センターニュースのなかで、私が密かに注目しているのは、Linux、Windows、Mac OSそれぞれについて利用、運用に関する解説・啓蒙記事が連載されていることです。

これが読者の方々の一助となって、よりよいネットワーク運用が進むことを期待したいと思います。なお、ネットワークへ接続の際は、本号で紹介したセキュリティガイドラインもぜひ精読されることをお願いいたします。

（文責 tss）